



←トランペットロボット実演

トヨタパートナーロボット→
2輪倒立型「モビロ」実演

シンポジウムでは、クリティカルパスを中心に地域連携をテーマとした「地域医療連携クリティカルパスの現状と課題」、「医療崩壊防止のための地域連携ネットワーク」、「がん治療連携」の3つをテーマとして今年4月の診療報酬改定に絡めて取り上げました。また、パネルディスカッションでは「未来につづく地域医療連携」、「電子カルテはずっと使えるの？買い換えないといけないの？」とした問題提起のなかから、これからのあるべき方向性を示唆する試みをいたしました。

昨年からはじまった参加型フリートークセッションでは「連携のための言葉」を取り上げ、それぞれ異なる切り口から活発な議論をしていただきました。ほかにも「マネジメント人材育成と医療の質」、「DPCと医療マネジメント」、「疾病管理と医療費適正化」など医療崩壊を食い止める施策に焦点を当てたテーマについて第一線でご活躍の先生方からそれぞれの立場で発言していただきました。なかでも、「これからの医療安全」は、日本航空客室サービス企画部の中村真典副部長をシンポジストに迎え、医療業界の外に目を向けたシンポジウムを行っていただきました。異業種から学ぶべき点も多く、幅を持たせた新しい学術総会の形として今後も増えていくことを期待します。

懇親会では事務局の予想を越え、320名のご参加をいただき有意義な交流の場となりました。ファインセラミック(陶磁器)による楽器演奏は、木材に変わる新たな音楽文化として今話題のエコにちなんだ企画としました。多くの皆さまにご参加いただきありがとうございました。

Webによるハンズアウトも400題のご登録をいただき、4万件を超えるダウンロードがありました。今後も運用等を見直しながら参加者へのサービスに繋がればと思います。

名古屋国際会議場はご承知の通り、周辺に飲食店がほとんど無いことから、ランチョンセミナーを大きな会場を中心に選定し、2日間で15会場ご用意いたしました。しかしながら、会場内での喫茶店で長蛇の列ができるなど大変ご不便をおかけしたことに對し、深くお詫びいたします。



会場風景



クリティカルパスポスター展示

最後になりますが、企画準備から運営にあたり宮崎理事長をはじめ理事・役員の先生方や学会本部の皆様のあたたかいご指導とご協力に深く感謝いたしますとともに、会員、参加者の皆さまに支えられて学術総会も盛会裡に終了することができました。改めて心よりお礼申し上げます。そして、各会場で協力しながら責任もって役割を果たしてくれた病院職員と看護学生のスタッフにも感謝しています。

日本医療マネジメント学会の益々の発展と各地域で築き上げられた技術や仕組みを学術総会という場から日本全国へと伝承されていくことを今後も祈念しております。

また、皆様方と長崎でお会いすることを楽しみにしております。